

## 関西空港から神戸へ(1)

11月22日、3年ぶりに関西空港を訪れた。関西空港対岸部の「りんくうタウン」や2期工事の状況が気になっていたからだ。

まず「りんくうタウン駅」で降りて、りんくうゲートタワービル26階にある「パノラマ情報センター」に行った。連休初日の土曜日というのに、入場者は私だけであった。3年前にも来たが、ここから「りんくうタウン」の全景が見られるからだ。この日は秋晴れにも恵まれ、遠方まで見渡すことができた。広大な埋立地に空き地が点在している。「りんくうタウン」は事業が見直されつつあるが、必死の努力にもかかわらず、3年前とあまり変わっていないようだ。遊園地あたりも人影はまばらであった。



中部空港でも対岸部に前島=「中部臨空都市」という埋立地が造成されている。レポートでも紹介してきたように、この開発をめぐる住民訴訟が行われているが、関西空港の「りんくうタウン」の二の舞にならないか懸念されるところだ。

そして関西空港に渡り、2期工事の展示コーナーに行った。3年前にも訪れたが、その時は埋立はほとんど進んでおらず、海の彼方に淡路島を見ることができた。

今回は写真のように広大な埋立地が広がり、様相は一変していた。水深が深く地盤も軟弱なところで、こんなに早く埋立地ができあがるのは驚きである。2007年の運用をめざして工事が急ピッチで進められている。現空港島と同様に地盤沈下が危惧されるとともに、はたして需要の見通しや採算性があるのか不明である。



公共事業見直しが叫ばれながら、こんな埋立が進行していることに憤りすら感じた。

(11月27日記)